

一般社団法人 日本応用地質学会
令和4年度・2022 年度
第1回国際委員会・IAEG JAPAN 運営委員会 議事録(案)

日 時 : 2022 年 4 月 28 日 (木) 15:00~17:00

場 所 : 国際航業株式会社 本社会議室、Zoom を用いた Web 会議(併用)

出席者 : 長谷川委員長、菊地副委員長、加地委員、昆委員、徳楠委員、水野委員、百嶋委員、山下委員、山田
幹事

委任状提出: 越谷委員、百瀬委員、安田委員

陪席: 茶石顧問

議事:

1. 前回議事録(案)の確認

- ・前回(2022 年 2 月)に開催した委員会の議事録(案)を了承した。
- ・韓国济州島の調査団報告書について、公開に向けて準備を進める。

2. 理事会報告

- ・令和 3 年度第 10 回及び第 11 回理事会の内容について報告がなされた。

3. IAEG JAPAN 運営委員会活動について

(1) IAEG 事務連絡

1) IAEG Newsletter 関連

- ・2022 No.1 の投稿原稿について報告がなされた。2022 No.2 の投稿へ向けて、引き続き素材の収集準備を進める。
- ・募集中の表紙写真について、学会事務局より、学会誌表紙に使用した写真やフォトコンテストの題材から選定したものを JapanNG から IAEG へ投稿することは可能との判断を頂いた。

2) IAEG 役員改選について

- ・5 月の理事会にて、「今回の改選では JapanNG からの立候補者の推薦は行わない方針であるが、国際委員会としては次回の改選(2026 年)での立候補者擁立に向けて準備を進めたい」旨を報告する。

3) 他 National Group との交流について

<韓国>

- ・KSEG へ送付した、KSEG 創立 30 周年お祝いコメントについて報告がなされた。
- ・録画動画のIAEGへの Webinar 投稿については、KSEG での公開終了を確認した後に、関係方面への確認を取った上で提供準備を進める。公開終了のタイミングについては、KSEG へ確認する。

<CHINESE TAIPEI>

- ・CHINESE TAIPEI Regional Group の Li-Yuan 代表から回答があり、YEGsのメンバー2名を窓口として交流を進めたいとのこと。今後は、国際委員担当者から直接コンタクトを取ってみる。なお、JSEG 側の YEGs 対応メンバーの増員候補についても検討する。

<その他>

- ・今後、各国との交流を活発化していくことを想定した場合、事前に講演協力して頂ける候補者や災害地質研究部会(60 周年特集記事など)の協力を得た上で、発表用素材(英語版PPT)を常備しておくのが望ま

しい。

4) RMEGV 2021 関連

- ・本ワークショップの準備・開催を通しての課題等についての執筆記事が学会誌に掲載予定とのこと。今後の国際シンポジウム開催時の参考として、国際委員会内でも記事を共有する。

(2) その他

1) 学会誌 Bulletin 紹介

- ・学会誌 6 月号の掲載記事について説明がなされた。次号担当の進捗状況を確認する。
- ・次号担当委員は、学会誌 8 月号掲載に向けた委員会内の原稿締め切り(5 月末まで)に原稿準備を進める。
- ・半年に1回程度を目標に、投稿論文の分野別傾向を分析する。
- ・新スタイルでは翻訳時の担当者の負担軽減のため、原稿は最大2ページ程度とする。内容の一例として、各担当が自身の得意とする業務分野に着目し、同分野での Bulletin 掲載論文の紹介を絡めて、最近の国内動向との比較を行う、など。

2) ダイバーシティ推進特別委員会

- ・令和 4 年度第 1 回委員会の議事録について説明がなされた。
- ・次回セミナーは 6/6(月)に開催予定。国際委員も講演予定のため、国際委員も奮ってご参加を。

3) 報告書執筆特別委員会関連

- ・教科書の執筆方針に関する委員長への確認結果について説明がなされた。
- ・引き続き特別委員会との情報共有を図りながら、国際委員会としては英語版の意義等を検討し対応方針を早めに固めたい。

4) 若手技術者を対象とした海外技術関連情報・知見の発信について(研究発表会_特別セッション対応)

- ・特別セッション応募用紙に記載した発表案の各メンバー(口頭発表)については、**学会 HP の研究発表会: 論文発表申込み(〆切:5/13(金)、アブストラクト要提出(250~400 字))を行う必要あり。**その際、**希望発表分野は「特別セッション2」を必ず選択**すること。
- ・口頭発表4件について、それぞれの発表が果たすべき役割分担について事前に検討する。
- ・オンライン講演は KSEG 会長に特別講演を依頼する方向で、各種準備を進める(発表タイトルの確認、謝金準備など)。
- ・委員長の発表の中では、アジアの諸事情を紹介する予定。Chinese Taipei の状況については、YEG メンバーに情報共有を依頼する。
- ・このセッションは、できれば来年度以降も継続する方向で検討する。

5) 大学機関からの国際委員会への参加について

- ・若手の大学関係者 ⇒国際委員会、YEG にも加わってもらう方向で要請する。
- ・その他に、大学の海外留学生(学会員になれば参加可能)などにも打診する方向で検討する。

6) 総会関連(令和 3 年度活動報告(案) & 令和 4 年度事業計画(案))

- ・Chinese Taipei の活動状況について確認する。

7) 海外シンポジウム

- ・現在、学会 HP に掲載中の情報について説明がなされた。適宜内容を最新情報に更新した上で、JSEG_HP のトップページ及び学会 NL での周知を手配する。

8) 国際会員情報(メールアドレス不明者)

- ・メールアドレス不明の5名について、引き続き情報収集を行う。

4. ホームページ関係

(1) JSEG 英語版 HP

- ・今後の HP 更新担当のうち、掲載コンテンツの検討は担当委員が主体となって進める。
- ・国際委員会における今後の SNS 活用については、広報・情報委員会の動向に合わせて対応する。
- ・直近での新たな試みとして、国内災害情報の速報的な情報提供 (SNS) や災害調査団写真集コーナー新設 (HP) などの対応準備を進める。

(2) JSEG 日本語版 HP

- ・更新状況について確認した。引き続き、必要に応じて更新を行う。
- ・国際委員会としての学会 Facebook の活用方法については、引き続き検討する。

5. 海外情報の共有

- ・「海外アラカルト」講演について今後も継続するため、海外業務の経験豊富なメンバーへの協力を要請する。

6. 重要案件の対応

(1) 韓国・CHINESE TAIPEI Regional Group との交流推進

- ・本活動は、下記(2)とのセット対応も含めて検討する。
- ・CHINESE TAIPEI Regional Group の連絡窓口は、以下の通り。
Dr. Ya-Chu Chiu. (Female) Assistant professor, National Chung Hsing University. clarice.chiou@gmail.com
Dr. Che-Ming Yang. (Male) Assistant professor, National United University. stanleyyangcm@gmail.com
Li-Yuan Fei, the representative of IAEG Chinese Taipei National Group

(2) 若手技術者向けの海外技術関連情報の発信

- ・秋の研究発表会で特別セッションを設け、JSEG 講演者 (6名程度) と海外招待者 2名 (KSEG, CHINESE TAIPEI RG) の発表、パネルディスカッションの開催など。(ダイバーシティ特別委員会との共催も検討)
※セッション開設が承認され次第、招待者に依頼を掛けるようにする。

(3) HP等での海外発信用コンテンツの作成

- ・学会 Facebook の利活用方法など。
- ※災害調査団速報も含むため、災害地質研究部会への英訳作成協力を要請する。

7. その他

- ・次回委員会 (令和 4 年度_第 2 回) は、令和 4 年 6 月下旬 (6/20 以降) に開催する方向で調整する。

以 上